

事務事業名 農村地域防災減災事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1857

施策：	20	防災・減災対策の推進	財務コード	01050106-15-372
基本事業：	04	国土強靱化対策の推進	担当部	環境経済部
基本事業の 成果指標	床上浸水件数 浸水対策に関する満足度		担当課	農政課
			担当係	農林土木担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
農業用ため池			豪雨や地震等災害による農業用ため池の決壊を未然に防止するために、防災重点農業用ため池の劣化状況評価、地震・豪雨耐性評価を行い、決壊の危険性がある農業用ため池の防災工事を行う。  令和6年度実績 地震耐性評価 4池						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
防災力の向上を図り、ため池決壊による水害その他災害から、人命及び財産を守る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
劣化状況評価箇所		箇所	13	0	4	16			50
耐震診断箇所		箇所		4		5			
5. コスト									
事業費		計	千円	5,267	37,772	500	143,566		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	4,970	37,770	0	125,917		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.4	0.65	0.7				
正職員人件費		千円	3,126	5,215	5,867				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	8,393	42,987	6,367	143,566			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		豪雨や地震災害等から農業用ため池の決壊を未然に防止するため劣化状況評価や、地震・豪雨耐性評価を行ない、令和10年度までに調査完了する予定である。 防災工事については、令和8年度より県営事業が着手予定である。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望） 豪雨や地震などの災害により、ため池が決壊するなどの被災リスクの低減を図る必要性の高まりによる。診断結果により、今後は、防災工事を計画的に実施していくことになる。									
備考・特記事項 or 進行管理欄					県営事業として防災工事の計画が進められている。				